

## 第三者評価結果報告書

総括	
対象事業所名	アスク和田町保育園（10回目受審）
経営主体(法人等)	株式会社 日本保育サービス
対象サービス	児童分野 保育所
事業所住所等	〒240-0065 横浜市保土ヶ谷区和田町1-13-1 朋和ビル1階
設立年月日	平成19年4月1日
評価実施期間	平成28年12月～29年5月
公表年月	平成29年8月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）	
<b>【施設の特色】</b>	
<b>立地および施設の概要</b>	
<p>アスク和田町保育園は、平成19年4月に開園した10年目の保育園で、相鉄線和田町駅から徒歩4分のところの4階建てのビルの1階を園舎として使用しています。定員は0歳児から5歳児まで60名で、現在60名の園児が通園しています。園は商店街に隣接した静かで落ち着いた雰囲気のある住宅街にあります。園庭もありますが、近くに9つの様々な形態の公園があり、各年齢に応じていろいろな公園で遊ぶことができます。</p>	
<b>園の特徴</b>	
<p>戸外活動を積極的に行っています。雨天以外の日には毎日園庭や公園で遊んでいます。雨天時でも4、5歳児は園庭や近隣への散歩に行けるように、園で子どものレインコートを準備しています。</p> <p>外部講師による英語教室・体操教室・リトミック、栄養士によるクッキング、保育士による幼児教育プログラムを取り入れ、子どもの楽しむ心や学ぶ楽しさを育てています。</p>	
<b>【特に優れていると思われる点】</b>	
<b>1、子どもの思いを取り入れた保育の実践への取り組み</b>	
<p>4月の職員会議で今年度力を入れていきたい点として、園長から職員へ子どもの接し方について、「子どもに対して大きな声を出さない、無理強いせずに様子を見ていく」ことを伝え、職員の共通理解としています。職員は子どもとの信頼関係を築けるように、子どもに分かりやすい言葉遣いや穏やかに話すことを心がけて子どもと接するように努めています。</p> <p>職員は日常の子どもの遊びの様子を見て、自由遊びの中で一人一人の興味や関心を大切にしながら「やっごらん」「一緒にやろうか？」と声かけをし、職員と一緒に遊びながら友だち関係も築けるように援助しています。職員は、日常的に子どもたちの意向を把握し、公園では一斉活動のほかに、自由遊びの時間を設け、職員は子どもが関心を持って遊べるようなしっぽ取りゲームのしっぽ、ボールやシャボン玉などを持って行き、子どもの要求があればいつでも対応できるようにしています。</p>	
<b>2、地域との様々な関わり</b>	
<p>園は、商店街に隣接した住宅街にあり、近隣との交流が行いやすい環境にあります。日常的な散歩での挨拶、商店街の協力を得たハロウィンの仮装で商店を巡ること、近隣の高齢者施設への訪問、横浜国立大</p>	

学ボランティアグループ「わだよこ研究会」との交流など、地域との様々な交流があります。これらを通じて、子どもたちも地域に溶け込み、近隣住民と顔なじみになり、お互いに笑顔で挨拶ができる関係ができています。

また、園の子育て支援事業として、「すくすく」(先着10名の保護者に保育園体験をしてもらうもの)を毎月第1土曜日に行い、参加者から地域の子育て支援ニーズを聞いたり、園の夏祭りや給食試食会に地域の未就園児親子を招待するなど、園から地域への貢献も行っています。

### 3、保護者との丁寧な接し方

どの職員も保護者を種々の職業に就く社会人として節度を持って接しています。送迎時の子どもの様子の聞き取りや一日の様子の伝達には、職員も保護者と同様に仕事を持っている人間として、保護者の気持ちを汲み取り、悩み事の相談などを含めた会話をするようにしています。保護者アンケートでは「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」については肯定的な回答が100%であり、「話しやすい雰囲気、態度であるか」については92%の肯定的な回答が寄せられています。

#### 【特に改善や工夫などを期待したい点】

##### 1.乳児クラスのおもちゃ提供の工夫

幼児クラスではおもちゃの種類が複数あり、子どもの欲求や意思に合わせて遊びを選べるようになっていますが、乳児クラスでは危険防止からおもちゃ入れの棚には布をかけていて、子どもが遊びたいおもちゃを聞いて、職員が提供するようにしています。乳児クラスでも子どもが自由に取り出して遊ぶことができるようおもちゃの収納に関して検討が望まれます。

##### 2. 園の自己評価の作成と公表

毎年行う第三者評価を利用して園としての自己評価を行い、職員会議などで話し合って課題の抽出に努めていますが、自己評価の公表は行っていません。毎年度末に「和田町園に望むこと」という項目を設け、「保育園の方針、保育士の姿、子どもの様子などの意見を記入してください」とコメントをつけて保護者アンケートを実施していますので、この情報も参考にして、園の自己評価としてまとめ、運営委員会や園だよりなどを利用して公表することが望まれます。

#### 評価領域ごとの特記事項

<b>1.人権の尊重</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・職員は子どもへの話し方や対応について、職員間でも気を付けながら保育にあたっています。職員の子どもの気になる対応や発言については、職員間でも直接声かけしたり、園長が直接指導するように努めています。</li><li>・守秘義務については、個人情報保護マニュアルや個人情報管理規程があり、職員は入社時に説明を受け、設置法人に誓約書を提出しています。ホームページや園ブログなどへの写真掲載については、入園時に重要事項説明書と口頭で説明し、保護者から書面で承諾を得ています。職員には個人名の入った書類や個人データの園外への持ち出しを禁止しています。</li><li>・性差による固定観念で保育を行ってはいけないことは、職員それぞれが研修を受け認識をもっています。行事の役や衣装などは、できるだけ子どもの意思を尊重し、順番や整列は男女別ではなく、月齢別、生年月日順、名前順を定着させています。気になる言動は、職員間でも直接声をかけたり、園長に相談することができているため、職員同士で考えたり反省できる流れができています。</li></ul>
<b>2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・絵本やおもちゃは年齢や発達に合わせて用意し、設置した棚から絵本やおもちゃを自由に取り出して遊べるようにしています。コーナー遊びでは、静と動の複数の遊びを提供しています。0歳児クラスには畳を設置し、ほかのクラスでは絨毯やマットでコーナーを作り、棚やロッカーを移動して広いスペースで遊べるようにしています。</li></ul>

・日常保育の中で子どもたちが自由に表現することを、職員は受け止めています。廃材は自由に使用できるように常に保育室に置き、乳児クラスでは新聞紙をちぎって遊んでいます。幼児クラスでは、年齢に合わせクレヨン、自由画帳、マーカーペンを個人持ちにして自由に使用しています。0歳児クラスは、振ると音の出るおもちゃを用意し、子どもたちが自由に音を出したり、リズムをとっています。1歳児以上の子どもたちは、自由に歌ったり踊ったり、お絵かきをしています。

・雨天以外の日は、毎日短時間でも散歩や屋外活動をするようにしています。職員は子どものその日の体調に合わせて活動内容を柔軟に変更したり、子どもの既往症や体調に合わせて、医務室を利用し職員と静かに遊ぶこともあります。年齢に応じては、雨天時にも園庭や近隣への散歩に行けるように、園で子ども用のレインコートを準備しています。

・クラス担当職員と栄養士が連携し、乳児クラスでは一人一人に合わせた食事量を提供しています。また、苦手なものでも食べられたら十分褒めています。2～5歳児クラスでは、クッキング保育を取り入れ、調理、配膳、片付けの一連の過程を経験しながら、食事やその過程に興味を持てるようにしています。

・午睡前には職員が絵本の読み聞かせを行い、保育室の明かりを暗くして眠りやすいようにしています。年長児は1月あたりからは午睡をなくすように進めています。0歳児は5分ごと、1、2歳児は10分ごとに、身体に触れながら呼吸のチェックを行い、幼児クラスでも30分ごとにチェックを行っています。また、睡眠状態や仰向け寝についても記録しています。

・トイレトレーニングは、職員が子ども一人一人の排泄リズムを把握するように努め、無理のないようにトイレに促しています。また、保護者から家庭での状況を聞き取りながら、連携して進めています。

・運営理念・基本方針・園目標は、子どもと保護者を尊重したものとなっており、職員は入社時に研修を受けています。4月の職員会議では非常勤職員も参加して理念・基本方針の徹底を行っています。職員会議に参加できなかった職員（非常勤職員を含む）には園長が説明をしています。

・保育課程は、保育の基本方針に沿って子どもの年齢ごとにねらいを明確にして作成し、子どもの発達に合わせ、個々の力を引き出すことを目的としています。毎年3月にクラスごとに見直しを行い、昨年度のものに加筆・訂正を加えて、職員会議で検討し作成しています。

・指導計画は子どもの年齢ごとに作成されており、年間指導計画は年4回、月間指導計画は毎月末、週案は週末に評価・反省を行って、日々の保育が計画のねらいとずれがないかなどを話し合っ、次の計画につなげています。

・0～2歳児の子どもについて、個々の発育の状況に合わせて個別に月間指導計画を作成し、特別に配慮を要する子どもについては、保護者との面談を定期的に行って課題への共有を図り、それに基づいた個別の指導計画を作成しています。

・障がいのある子どもやアレルギー疾患のある子どもなど、特別に配慮を要す

### 3.サービスマネジメントシステムの確立

	<p>る子どもの受け入れをしています。特別に配慮を要する子どもについてはケース会議で子どもの状況を共有すると共に、個別に指導計画を作成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園での苦情受付担当者は主任、苦情解決担当者は園長となっており、入園説明会で保護者に説明し玄関に掲示しています。第三者委員を2名立てており、第三者委員の役割は苦情を申し立てた保護者や苦情解決責任者の求めに応じて双方の話し合いの立ち会い、助言を行うことであることを入園前説明会で保護者に説明しています。</li> </ul>
<p><b>4.地域との交流・連携</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保土ヶ谷区の子育て支援事業に参加し、親子の広場、地域の親子と交流を行っています。子育て連絡会の会議にも出席し、子育て支援団体との交流を行っています。</li> <li>・子育て支援についての情報は、保土ヶ谷区広報に掲載し、子育て支援拠点「こころ」の広報誌に掲載しています。運動会やハロウィンなどについて、園のホームページや園外壁にポスターを掲示して情報提供を行っています。</li> <li>・園の夏まつりや給食試食会には、地域の未就園児親子を招待しています。第三者委員を夏祭り、運動会、卒園式などの行事に招待しています。ハロウィンでは、和田町商店街の店に協力を得ています。</li> <li>・園についての問い合わせや見学希望者には、園長か事務担当職員が対応しています。園長や事務担当職員が不在の場合は、日を改めて連絡をもらえるように伝えています。利用希望者からの電話問い合わせの際には、園見学ができることを伝え、園見学を勧めています。</li> <li>・ボランティア受け入れガイドラインがあり、園長を受け入れ担当とし、お泊り会などの園行事の保育ボランティアや横浜国立大学ボランティアサークル「わだよこ研究会」を受け入れています。ボランティア受け入れの際には職員会議で職員に説明し、保護者にはホワイトボードや園だよりで知らせています。</li> </ul>
<p><b>5.運営上の透明性の確保と継続性</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園情報は、園パンフレット、設置法人のホームページ、保土ヶ谷区子育て情報「びよびよぽっけ」、保土ヶ谷区子育て応援ガイド「ほどびよマップ」、地域子育て支援活動拠点「こころ」に提供しています。また、「子育て支援情報サービスかながわ」や地域情報誌などの外部媒体にも園の情報を提供しています。園見学者や子育て支援「すくすく」参加者に園のパンフレットを渡し、園内見学や、必要な情報を提供しています。</li> <li>・保育園業務マニュアル及び就業規則に守るべき法・規範・倫理などが明文化され、職員に対する研修も行われています。コンプライアンス委員会を設置しており、職員が直接委員会に通報することができる制度があります。委員会への連絡先は事務所に掲示しています。</li> <li>・運営面での重要な改善課題と判断した場合は職員会議やリーダー会議を開催し話し合っています。当面の改善課題として、保育室の安全対策の環境設定、不審者対応などをあげ、取り組んでいます。</li> </ul>
<p><b>6.職員の資質向上の促進</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人にて「人材育成ビジョン」が設定され、人材育成の方針が明確にされています。設置法人主催の様々な研修が、職員の能力、経験年数に応じて用意されています。</li> </ul>

・年間指導計画、月間指導計画、週案には、計画のねらいと、評価・反省欄が設けられており、クラスで振り返りを行った上で、改善をする必要がある点を取り上げ、次の計画につなげています。

・職員会議で園の課題を話し合い、抽出された課題を中長期計画の課題として「様々な経験や対人関係の広がりを通じて、自立心を高める」「地域の方と共同でイベントを開催」として取り上げました。

・実習生受け入れガイドラインがあり、実習生の受け入れをしています。受け入れ担当は園長であり、オリエンテーションで学校側の目的や実習生の希望を取り入れたプログラムになるよう相談し、実習中には、毎日職員と実習生が話す時間を設け、最終日には園長かクラス担当職員が実習生と振り返りをしています。

## 評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

### 評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<b>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</b>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営理念・基本方針・園目標は子どもと保護者を尊重したものとなっており、職員は入社時に研修を受けています。4月の職員会議では、非常勤職員も参加して理念・基本方針の徹底を行っています。職員会議に参加できなかった職員（非常勤職員を含む）には園長が個別に説明をしています。</li> <li>・保育課程は保育の基本方針に沿って、子どもの年齢ごとにねらいを明確にして作成し、子どもの発達に合わせ、個々の力を引き出すことを目的として作成しています。保育課程は毎年3月にクラスごとに見直しを行い、昨年度のものに加筆・訂正を加えて、職員会議で検討し決定しています。</li> <li>・保育課程に基づき、年齢別に年間指導計画、月間指導計画、週案を作成し、0～2歳までと特別に配慮を要する子どものつについては個別に指導計画を作成しています。</li> <li>・幼児クラスの子どもには、わかりやすい言葉で子どもが納得できるように話しています。乳児がおもちゃの側によってきたときは、それで遊びたいとの思いを汲み取り、職員と一緒に遊ぶなど、意思疎通ができるよう工夫をしています。</li> </ul>
<b>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前説明会を3月中旬に開催し、「入園のご案内（重要事項説明書）」と玄関の施錠や感染症対応などの園のルールを記した配付資料に沿って説明をしています。説明会終了後、園長、主任、リーダー職員による保護者との個別面談を行っています。</li> <li>・個別面談に同伴した子どもの観察や個別面談の結果は観察シートに記録し、子どもの生育歴を把握し、個別指導計画に結びつけています。</li> <li>・新入園児には慣らし保育の重要性を説明し、保護者の家庭環境などを考慮して、慣らし保育を行っています。</li> <li>・0～2歳児と特別に配慮を要する子どもには個別連絡ノートがあり、食事、排泄、睡眠の様子を伝え合い、園と家庭の連携を取っています。3～5歳児はクラスノートでその日の子どもの様子を知らせ、口頭でも子どもの様子を保護者に伝えています。幼児も希望者には個別連絡ノートを使用することができます。</li> <li>・指導計画は子どもの年齢ごとに作成されており、年間指導計画は年4回、月間指導計画は毎月末、週案は週末に評価・反省を行って、日々の保育が計画のねらいとずれがないかなどを話し合っ、次の計画につなげています。</li> </ul>

### I-3 快適な施設環境の確保



- ・毎日の清掃はマニュアルに基づき職員が当番制で行い、終了後は清掃チェック表に記録をしています。チェック表には清掃すべき項目があり、該当箇所は次亜塩素酸を使って消毒をしています。
- ・0、1歳児室、と2、3歳児室は表通りに面しており、安全面から長時間窓の開放ができないので空気清浄機を使用し、空気が清浄に保てるようにしています。
- ・クラス内の湿度は、夏は50%以上、冬は30%以下にならないよう調節をしています。室温は子どもたちの体感に合わせています。
- ・沐浴は乳児トイレ室にベビーバスを置いて使用し、温水シャワーは乳児トイレと幼児トイレにあります。夏に水遊びのできない子には温水シャワーを使っています。
- ・沐浴・温水シャワーなどは定期的に清掃を行い、使用をした場合は、使用直後にスポンジで清掃し、アルコール消毒をしています。清掃後は清掃記録表に記録しています。
- ・0歳児室には畳を敷き、少人数や低月齢児の遊びの空間を確保しています。1、2歳児のクラスはついたてを立てたり、マットを敷いてコーナーを作って遊べるようにしています。

### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ・0～2歳児の子どもについて、個々の発育の状況に合わせて個別に月間指導計画を作成し、特別に配慮を要する子どもについては、保護者との面談を定期的に行って課題への共有を図り、それに基づいた個別の指導計画を作成しています。
- ・保育所児童保育要録は5歳児担当職員が作成して園長が確認し、小学校に持参しています。必要に応じて園長が学校に口頭での申し送りをしています。
- ・入園時に「児童家庭調査票」「お子様の状況について」の書類を提出してもらい、児童票とともに保管しています。児童票、保育日誌、個別指導計画に子どもの成長発達を記録をしています。児童票に0、1歳児は毎月、2～5歳児は3か月ごとに発達状況を記録しています。これらの書類は個人情報保護のため、事務室の書庫に施錠し保管をしています。

## I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・障がいのある子どもやアレルギー疾患のある子どもなど、特別に配慮を要する子どもの受け入れをしています。
- ・リーダー会議や毎月の職員会議でケース会議を行い、生活、食事、人間関係、排泄、言語などの配慮点や関わり方が適切かどうか 職員間で話し合っています。会議の内容は個別ファイルとして保管されています。
- ・特別に配慮を要する子どもについてはケース会議で子どもの状況を共有すると共に、個別に指導計画を作成しています。保護者とは子どもの状況について話し合いをして状況を共有し、横浜市西部地域療育センターと連携を取り、巡回相談を受けています。
- ・虐待について、職員は、園長が職員会議で話をして職員に周知することや、法人作成の虐待対応マニュアル、横浜市子ども虐待ハンドブックにより、定義や対応を理解しています。
- ・毎朝の登園時に子どもや保護者の様子を観察し、子どもの着換えのときに目視するなどにより、異常がないかの確認をし、虐待の予兆発見に努めています。虐待のサインが少しでも見受けられたら、その子どもに対してケース記録をつけ、外傷がある場合は写真で記録を残し、保土ヶ谷区こども家庭支援課に連絡をしています。
- ・食物アレルギーのある子どもについては、入園前に、保護者と栄養士が面談し、入園時に健康診断書と共に生活管理指導表の提出を求めています。保護者との面談を6か月に1回行い、また、アレルギー対応の献立表を用意して、対象の保護者に配付しています。
- ・外国籍の子どもの生活習慣やタブーについては通訳を介して、両親から宗教上食べてはいけない食物などの情報を入手しています。
- ・子ども達には肌の色が違ういろいろな人がおり、食べ物も違うことがあることを説明しています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>I-6 苦情解決体制</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園での苦情受付担当者は主任、苦情解決担当者は園長となっており、入園説明会で保護者に説明し、玄関に掲示しています。</li> <li>・第三者委員を2名立てています。第三者委員の役割は苦情を申し立てた保護者や苦情解決責任者の求めに応じて双方の話し合いの立ち会い、助言を行うことであることを入園前説明会で保護者に説明しています。</li> <li>・苦情や要望対応窓口として、行政の窓口（保土ヶ谷区こども家庭支援課）や横浜市福祉調整委員会の連絡先を明記し、玄関に掲示して複数の窓口を知らせています。</li> <li>・苦情を受けた場合は受付ノートに記入し、緊急のミーティングを開催し、内容の周知と解決策の検討をしています。解決策の報告は、個人的なものは直接本人に報告しています。全体に関わることは園日より、クラス日より解決策を記載して保護者に知らせています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅱ-1 保育内容[遊び]</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本やおもちゃは年齢や発達に合わせて用意し、設置した棚から自由に取り出して遊べるようにしています。コーナー遊びでは、静と動の複数の遊びを提供しています。0歳児クラスには畳を設置し、ほかのクラスでは絨毯やマットでコーナーを作ったり、棚やロッカーを移動して広いスペースで、遊べるようにしています。</li> <li>・カブトムシやクワガタを、図鑑を見ながら観察しクラス全体で育てています。幼児クラスで育てていたカブトムシは、幼虫がさなぎになり、土の表面に出て来て脱皮するまでを見ることができています。園庭のプランターでは、春と秋に野菜（ブロッコリー、小松菜、大根、サツマイモなど）や花を栽培し、観察、収穫、クッキング保育などに繋げています。子どもたちが生き物や植物を育てながら、興味や命の大切さを経験できるようにしています。</li> <li>・日常保育の中で子どもたちが自由に表現することを、職員は受け止めています。廃材は自由に使用できるように常に保育室に置き、乳児クラスでは新聞紙をちぎって遊んでいます。幼児クラスでは、年齢に合わせてクレヨン、自由画帳、マーカーペンを個人持ちにして自由に使用しています。0歳児クラスは、振ると音の出るおもちゃを用意し、子どもたちが自由に音を出したり、リズムをとっています。1歳児以上の子どもたちは、自由に歌ったり踊ったり、お絵かきをしています。</li> <li>・異年齢保育活動を取り入れ、年間計画を立て、2歳児～5歳児を3グループにわけ、クッキング保育や土曜保育を異年齢児で行ったり、夕方に年長児が乳児クラスに遊びに行っています。</li> <li>・雨天以外の日は、毎日短時間でも散歩や屋外活動をするようにしています。職員は子どものその日の体調に合わせて活動内容を柔軟に変更したり、子どもの既往症や体調に合わせて、医務室を利用し職員と静かに遊ぶこともあります。年齢に応じては、雨天時にも園庭や近隣への散歩に行けるように、園で子ども用のレインコートを準備しています。</li> </ul>

## Ⅱ-1 保育内容[生活]



- ・クラス担当職員と栄養士が連携し、乳児クラスでは一人一人に合わせた食事量を提供しています。職員は子どもが食事を楽しめるように、少食や偏食の子どもの食事量の調整をして完食できる喜びを感じられるようにしています。また、苦手なものでも食べられたら十分褒めています。2～5歳児クラスでは、クッキング保育を取り入れ、調理、配膳、片付けの一連の過程を経験しながら、食事やその過程に興味を持てるようにしています。
- ・季節感のある献立や盛り付けで食事の提供をしています。月に一度は季節や行事に合わせたお楽しみランチがあり、子どもたちが楽しめるようにしています。遊びの場から食事の場となるようにテーブルや椅子を配置し、雰囲気を変えています。
- ・午睡前には職員が絵本の読み聞かせを行い、保育室の明かりを暗くして眠りやすいようにしています。年長児は1月あたりからは午睡をなくすように進めています。乳幼児突発死症候群予防のため、0歳児は5分ごと、1、2歳児は10分ごとに、身体に触れながら呼吸のチェックを行い、幼児クラスでも30分ごとにチェックを行っています。また、睡眠状態や仰向け寝についても記録しています。
- ・トイレトレーニングは職員が子ども一人一人の排泄リズムを把握するように努め、無理のないように排泄を促しています。また、保護者から家庭での状況を聞き取りながら、連携して進めています。

## Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



- ・保育園業務マニュアルに基づき子どもの健康状態の把握に努めています。一人一人の健康状態は、その日の生活記録簿や保育日誌に記入し職員間でも共有しています。既往症などについては、保護者からの入園時面談での聞き取りと健康調査票の提出により情報の把握をしています。
- ・健康診断を年2回、歯科健診を年1回実施しています。一人一人の健康診断、歯科健診結果は、個人健康記録票に記録し保管しています。健康診断、歯科健診の結果は、健診結果票の書面で保護者に渡し、降園時にも職員が口頭でも伝えています。健診結果に基づき、必要なことがある場合は嘱託医やかかりつけ医と連携を図り、日常保育の中でのアドバイスも受けています。
- ・感染症・食中毒対応マニュアルや嘔吐物処理の対応マニュアルがあり、全職員が把握しています。保護者には、感染症にかかった場合の登園停止基準や対応について記載された重要事項説明書を配布し、入園時や運営委員会などでは口頭でも説明し、流行の時期には、繰り返し感染症や対応についての説明をしています。
- ・保育中に子どもが発症した場合は、速やかに保護者へ連絡し、子どもは医務室などの静かな部屋で、職員がついて安静が保てるようにしています。感染症情報については、ホワイトボードに掲示して保護者へ伝え、職員間でも迅速に情報を共有をしています。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理[衛生管理]



・保育園衛生マニュアルがあり、マニュアルは事務所に保管し、職員がいつでも見られるようにしています。マニュアルの変更内容で緊急性の高いものは、職員全員が出勤時に必ず確認する連絡用ファイルに記載し、速やかに伝達するようにしています。

・清掃記録表、保育室清掃記録表があり、毎日園長が清掃漏れがないかを確認しています。清掃記録表に記載のない所も、土曜日の時間に余裕のある時に随時細かな清掃をしています。清掃の際には、必要箇所に応じて殺菌・漂白剤の濃度を調整し、マニュアルに沿って対応しています。

## Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理[安全管理]



・事故防止対応マニュアルがあり、事故防止チェックリスト、安全チェックリスト、自主点検表を使用して、事故やケガのないように保育室内を整えています。園内の家具は固定し、棚の上には滑り止めマットを敷いて、転倒防止の安全対策をしています。

・災害時対応マニュアルがあり、避難訓練などの際に内容の確認を行い、全職員に周知されています。震度5強以上の保育園地震・防災ガイドラインがあり、園の災害時備蓄表や防災関係機関連絡票一覧、職員緊急連絡網を記載し保管しています。

・事故やけがについては、職員が園長に迅速な報告を行い、保護者へは少しのケガでもわかりやすく状況を伝えています。事故やケガについてはアクシデントレポートやインシデントレポートに記録し、職員会議で改善策を検討し実行に繋がっています。

・玄関は常時施錠し、不審者の緊急通報体制として警備保証会社の防犯カメラ、通報用ブザーを設置しています。職員は法人研修で不審者対応訓練を受けています。また、園でも不定期に不審者対応訓練を実施しています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅱ－３ 人権の尊重</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は子どもへの話し方や対応について、職員間でも気を付けながら保育にあたっています。職員の子どもの気になる対応や発言については、職員間でも直接声かけしたり、園長から直接指導するように努めています。</li> <li>・子どもが、ほかの子どもや職員の視線を意識せず過ごしたり、子どもと一対一で話し合う必要がある場合は、保育室をロッカーなどで区切り、スペースを確保しています。また、子どものプライバシーを守るために、廊下や医務室を必要な用途に合わせて利用しています。廊下の本コーナーでは、子どもが友だちや職員のことを意識することなく、落ち着いて過ごしています。</li> <li>・守秘義務については、個人情報保護マニュアルや個人情報管理規程があり、職員は入社時に説明を受け、設置法人に誓約書を提出しています。ホームページや園ブログなどへの写真掲載については、入園時に重要事項説明書と口頭で説明し、保護者から書面で承諾を得ています。職員には個人名の入った書類や個人データの園外への持ち出しを禁止しています。</li> <li>・性差による固定観念で保育を行ってはいけないことは、職員それぞれが研修を受け認識をもっています。行事の役や衣装などは、できるだけ子どもの意思を尊重し、順番や整列は男女別ではなく、月齢別、生年月日順、名前順を定着させています。気になる言動については、職員間でも直接声をかけたり、園長に相談することができているため、職員同士で考えたり反省できる流れができています。</li> </ul>
<p><b>Ⅱ－４ 保護者との交流・連携</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への園目標や運営理念の説明は、運営委員会やクラス懇談会などで、園長が口頭で説明し、後日、運営委員会だよりも発行し伝えています。園だよりも園目標、クラスだよりもにはクラス目標を記載しています。</li> <li>・子どものお迎え時には、職員が口頭でその日の子どもの様子を伝えるように努め、0～2歳児は連絡ノートも利用して日々の情報交換をしています。幼児クラスの個人連絡ノートは任意としています。</li> <li>・個人面談は年2回設け、保護者の予定を考慮し時間設定をしています。また、保護者からの相談は、医務室や面談スペースを作り、対応しています。相談は内容に応じて、職員、栄養士、園長や複数での面談のほか、設置法人発達支援チームや専門機関、関係機関に繋げることもあります。</li> <li>・園だよりもなどは毎月発行しています。運営委員会やクラス懇談会ではクラス全体の様子を伝えて、クラスごとにホワイトボードやクラスノートで、その日の保育の様子も伝えています。</li> <li>・運営委員会などで、園長から保育室の提供ができることを伝えています。保護者からの依頼で、保護者同士の衣類や玩具の譲り合いの場として、園の玄関の一定位置を提供しています。職員は保護者とは常に節度を持ってコミュニケーションをとり、保護者側から卒業式でのピアノ演奏、芋ほりの運搬、園庭で使用する踏み台製作など、自主的に手伝いをしてもらっています。</li> </ul>

## 評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援事業「すくすく」（先着10名の保護者に保育園体験をしてもらうもの）を第一土曜日に行っています。参加者から地域の子育て支援ニーズを聞いています。</li> <li>・保土ヶ谷区の子育て支援事業に参加し、親子の広場、地域の親子と交流を行っています。子育て連絡会の会議にも出席し、子育て支援団体との交流を行っています。</li> <li>・保土ヶ谷区主催の合同育児講座に講師として、参加しました。子育て支援会議（保育園、子育て支援施設、幼稚園、小学校、民生委員・児童委員がメンバーとして参加）に出席して意見交換をしています。</li> <li>・地域住民に対する子育て支援サービス（一時保育、交流保育、園庭開放など）の実施はできていません。</li> </ul> <p><b>&lt;コメント・提言&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援サービスについて、園でできることは何かを、職員と話し合い、専門性を活かしたサービスの提供が望まれます。</li> </ul>
<p><b>Ⅲ－2 保育園の専門性を活かした相談機能</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援についての情報は、保土ヶ谷区広報に掲載し、子育て支援拠点「こころ」の広報誌に掲載しています。運動会やハロウィンなどについて、園のホームページや園外壁にポスターを掲示して情報提供を行っています。</li> <li>・育児相談を毎日9：30～10：30に受付をしている旨園外壁に掲示をしていますが、実績はありません。</li> <li>・役所、病院、消防署、警察署などは社会資源一覧表としてリスト化し事務所に掲示しています。</li> <li>・相談の内容により、横浜市西部地域療育センター、横浜市西部児童相談所、保土ヶ谷区こども家庭支援課、設置法人本部などと連携ができており、相談、助言を受けられる仕組みができています。</li> </ul> <p><b>&lt;コメント・提言&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児相談については定期的に受付をしていることを情報として発信することが望まれます。</li> </ul>

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の夏まつりや給食試食会には、地域の未就園児親子を招待しています。第三者委員を夏祭り、運動会、卒園式などの行事に招待しています。ハロウィンでは、和田町商店街の店に協力を得ています。</li> <li>・保土ヶ谷区幼・保・小との連携で年長児は近隣の星川小学校見学や小学校交流会に参加しています。星川小学校へは毎月園だよりを届け、運動会には校庭を借りています。常盤台地区年長交流や乳児公園交流への参加、近隣保育園と合同での「3R夢カーによるエコの学習」や消防訓練も実施しています。また、中学校からの職場体験を受け入れています。</li> <li>・保育活動で保土ヶ谷図書館、境之谷公園こどもログハウスなどの公共施設を利用し、買い物体験などでは商店街、近隣スーパーなどを利用しています。近隣の高齢者施設とは、施設行事に参加し関わりを持っています。</li> </ul> <p><b>&lt;コメント・提言&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に向けて施設開放や備品の貸し出しができることを、自治会等に向けて伝えていくことが期待されます。</li> </ul>
<p><b>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園のパンフレット、設置法人のホームページ、保土ヶ谷区子育て情報「ぴよぴよぼっけ」、保土ヶ谷区子育て応援ガイド「ほどぴよマップ」、地域子育て支援活動拠点「こっころ」に、情報提供しています。また、「子育て支援情報サービスかながわ」や地域情報誌などの外部媒体にも園の情報を提供しています。園見学者や子育て支援「すくすく」参加者に園のパンフレットを渡し、園内見学や、必要な情報を提供しています。</li> <li>・園についての問い合わせや見学希望者には、園長または事務担当職員が対応しています。園長や事務担当職員が不在の場合は、日を改めて連絡をもらえるように伝えています。利用希望者からの電話問い合わせの際には、園見学ができることを伝え、園見学を勧めています。</li> </ul>
<p><b>Ⅳ－３ 実習・ボランティアの受け入れ</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア受け入れガイドラインがあり、園長を受け入れ担当とし、お泊り会などの園行事の保育ボランティアや横浜国立大学ボランティアサークル「わだよこ研究会」を受け入れています。ボランティア受け入れの際には、職員会議で職員に説明し、保護者にはホワイトボードや園だよりに記載して知らせています。</li> <li>・実習生受け入れガイドラインがあり、実習生の受け入れをしています。受け入れ担当は園長で、オリエンテーションで学校側の目的や実習生の希望を取り入れたプログラムになるよう相談し、実習中には、毎日職員と実習生が話す時間を設け、最終日には園長かクラス担当職員が実習生と振り返りを行っています。</li> </ul>

## 評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-1 職員の人材育成</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人で「人材育成ビジョン」が設定され、人材育成の方針が明確にされています。設置法人主催の研修が、職員の能力、経験年数に応じて用意されています。</li> <li>・職員の能力・経験に応じて階層別研修が計画されています。その他に自由選択研修があり職員の希望に応じて受講することができます。園長は前期と後期に職員と面談を行い、研修受講の進捗状況と目標への達成度の確認をしています。</li> <li>・毎年、設置法人研修担当は職員に対し研修に関するアンケートを実施し、研修計画を作成しています。自由選択研修には非常勤職員も参加することができます。</li> <li>・非常勤職員は常勤職員とペアを組むようにシフトを作成しています。0、1歳児クラスは、子どもとの関係が円滑に行われるようにフリーの職員に担当クラスを決めています。</li> <li>・非常勤職員には新技術取得などのため園内研修に参加してもらっており、AED、心肺蘇生、避難訓練、アレルギー対応などに参加しています。</li> </ul>

評価分類	評価の理由（コメント）
<p><b>V-2 職員の技術の向上</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の自己査定シートを用意しており、自己査定シートを基に年3回園長と職員面談をして、ねらい、目標等の振り返りを行って、進捗状況の確認をしています。また、毎年、第三者評価を受審するにあたり、職員は個々に第三者評価の評価基準にそって自己評価を行い、その結果を職員会議で話し合い、園としての自己評価を行い、課題の抽出を行っています。</li> <li>・年間指導計画、月間指導計画、週案には、計画のねらいと、評価・反省欄が設けられており、クラスで振り返りを行った上で、改善の必要がある点を取り上げ、次の計画につなげています。</li> <li>・職員会議で、園の課題を話し合い、中長期計画として「様々な経験や対人関係の広がりを通じて、自立心を高める」「地域の方と共同でイベントを開催」を取り上げました。</li> <li>・第三者評価の結果を、保護者がいつでも見られるようにファイルとして玄関に置いていますが、園の自己評価の公表は行われていません。</li> </ul>

### V-3 職員のモチベーションの維持



- ・ 設置法人で作成した「保育士に求められる能力・役割」があり、職員の経験・知識レベルに応じた期待値が明文化されています。保育園業務マニュアルに職務分担が明確にされています。
- ・ 園長は、クラス内のことについては担任に任せ、権限を委譲された件について、園長・主任への報告・連絡・相談を徹底するよう指導しています。
- ・ 園長は年3回職員の個人面談を行い、職員の保育に対する姿勢、計画の進捗度などの状況を聞き、職員の要望や満足度の実態を把握しています。

## 評価領域VI 経営管理

### 評価分類

### 評価の理由（コメント）

#### VI-1 経営における社会的責任



- ・ 保育園業務マニュアル及び就業規則に守るべき法・規範・倫理等が明文化され、職員に対する研修も行われています。コンプライアンス委員会を設置しており、職員が直接委員会に通報することができる制度があります。委員会への連絡先は事務所に掲示しています。
- ・ 法人内の他施設で発生した事故などは、設置法人本部より1日に2回メールが送られてきます。A案件は、即座に職員会議を開催して、再発防止策の検討を行い、議事録を設置法人本部に送ることになっています。B案件は注意喚起を促すものとなっています。
- ・ ゴミは分別し、廃材を利用した手作りおもちゃの製作を行っています。ペットボトルのキャップの回収や子ども塗り絵には裏紙にコピーをして、リサイクルに努めています。
- ・ 廊下に「和田町保育園のエコへの取り組み」の文書を掲示し、園のエコに対する考え方を示しています。

#### VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- ・ 園長は職員会議で理念・基本方針について確認を行って、日常の保育の中で気が付いたときは、職員に今の行動が理念や基本方針に沿っているかの質問をしています。
- ・ 園長は、保護者の意向や思いを把握するために、送迎時に積極的に保護者との会話を心がけています。保護者からの安全対策などの意見については、必要時張り紙などで他の保護者にも注意を喚起しています。
- ・ 「人材育成ビジョン」に主任の役割を明確にしており、階層別研修プログラムに主任研修があります。主任の役割は、園長不在の折の園長代行と各職員の業務内容の把握であり、業務として、各クラスのサポート、シフト作成、保護者支援などがあります。主任は業務管理のほか、随時保育業務に入りクラスの状況を把握して、日々の保育が円滑に進むよう、個々の職員に指導・助言を行っています。

### VI-3 効率的な運営



- ・外部環境の変化などの情報は、保土ヶ谷区認可保育園園長会議や子育て支援会議に出席し、情報の入手に努めています。園長は入手した情報を職員会議で職員に報告しています。保護者のニーズに合った保育を行うための課題を職員会議で話し合っています。
- ・運営面での重要な改善課題と判断した場合は職員会議やリーダー会議を開催し話し合っています。当面の改善課題として、保育室の安全対策の環境設定、不審者対応などをあげ、取り組んでいます。
- ・平成24年度から平成28年の「心と身体の自立を促す」「地域に根ざした保育園に」「豊かな人間性を持った子どもを育成する」をテーマとする5カ年計画を作成しています。

# 利用者家族アンケート

事業所名:アスク和田町保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## 結果の特徴

### ◇ 調査対象

調査時点での在園児数 60名、全保護者52家族を対象とし、回答は23家族からあり、回収率は44%でした。

### ◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

### ◇ 総合満足度

肯定的な回答は96%(満足35%、どちらかといえば満足61%)と高い評価を得ており、否定的な回答は4%(どちらかといえば不満4%、不満0%)でした。

### ◇ 比較的満足度の高い項目(満足、どちらかという満足合計が100%)

- 1)園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)
- 2)給食の献立内容については
- 3)お子さんが給食を楽しんでいるかについては
- 4)遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては

### ◇ 比較的満足度の低い項目(どちらかという不満および不満合計)

- 1)施設設備については(21%)
- 2)お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については(21%)
- 3)外部からの不審者侵入を防ぐ対策については(22%)

## 調査結果

### ■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	4%	66%	9%	4%	17%	

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	75%	19%	6%	0%	0%	0%

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	49%	30%	4%	13%	0%	4%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	39%	48%	9%	0%	0%	4%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	35%	47%	9%	0%	0%	9%
	その他:					
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	43%	53%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	39%	53%	4%	0%	4%	0%
	その他:					
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	39%	44%	13%	4%	0%	0%
	その他:					

#### 問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	39%	44%	4%	4%	9%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	30%	48%	9%	9%	4%	0%
	その他:					

#### 問4 日常の保育内容について

##### 遊びについて

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	39%	57%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	52%	35%	13%	0%	0%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	43%	57%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	43%	49%	4%	0%	4%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	35%	65%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	35%	56%	9%	0%	0%	0%
	その他:					

##### 生活について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	74%	26%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	65%	35%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	65%	35%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	57%	35%	4%	4%	0%	0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	43%	35%	0%	0%	22%	0%
	その他: まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについては	53%	39%	4%	0%	0%	4%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	35%	44%	17%	0%	4%	0%
	その他:					

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
施設設備については	30%	49%	17%	4%	0%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	30%	49%	17%	4%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	13%	65%	13%	9%	0%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	39%	53%	0%	4%	0%	4%
	その他:					

### 問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	26%	57%	4%	9%	4%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	39%	52%	9%	0%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	26%	65%	9%	0%	0%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	21%	63%	8%	4%	4%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	26%	57%	17%	0%	0%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	26%	65%	9%	0%	0%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	43%	49%	4%	0%	4%	0%
	その他:					

**問7 職員の対応について**

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	43%	53%	4%	0%	0%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	52%	48%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	48%	48%	0%	0%	4%	0%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	35%	57%	4%	0%	4%	0%
	その他:					
意見や要望への対応については	26%	57%	13%	0%	0%	4%
	その他:					

**問8 保育園の総合的評価**

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	35%	61%	4%	0%	0%

# 観察方式による利用者本人調査

平成 29 年 2 月 28 日

事業所名：アスク和田町保育園

## 【0 歳児】

### <オムツ>

0 歳児は保育室内でオムツ交換をしています。保育室にはオムツ替えルールが掲示してあり、子どもたちは手順に沿っておむつ替えしてもらっています。オムツ交換の際には一人用マットを使用し、保育士は、一回ごとにマットを消毒用ペーパーで拭いています。

### <食事>

2 月には 0 歳児も月齢が上がり、離乳食の子どもはおらず、全員幼児食を食べています。子どもたちは、テーブルで保育士に援助してもらいながら、スプーンを持って自分で食べようとしています。上手く口に運べない子どもは、保育士に手を添えてもらったり、保育士が持っている食べやすいスプーンで食べさせてもらっています。

### <自由遊び>

保育士の周りに子どもたちが集まり、保育士手作りのミルク缶を使用したおもちゃで遊んでいます。0 歳児だけで危険がなく落ち着いて遊べるように、低い仕切りの扉を閉めています。

### <午睡>

明かりを落としカーテンを引いた保育室で、子どもたちは仰向けに眠っています。なかなか眠れなく、ぐずったり泣いている子どもは、保育士に抱いてもらって、眠りについていきます。

## 【1 歳児】

### <おやつ>

子どもたちは保育士に配膳してもらった朝のおやつを食べています。「〇〇ちゃん牛乳飲んだ?」「〇〇ちゃんも食べてみて」「はい、おしまいね」「お手で拭いて」と保育士の声が聞こえます。おやつの済んだ子どもは、その場でグーパーして遊んでいます。保育士が「ごちそうさまでした」と伝え、「みなさんご一緒に、ごちそうさまでした」をしました。

### <食事>

子どもたちは、手洗いが済んでテーブルにつき、食事用エプロンの準備がで

きた子どもから食べ始めています。スプーンを使用していますが、上手くすくえない子どもや、まとめられない子どもは保育士に援助してもらっています。保育士は「おうどんだからスプーンだよ」と説明しています。食物アレルギーの子どもがいます。ほかの子どもとは別のテーブルでトレイの色も替え、保育士がそばについて見守っています。子どもが「先生スプーンある？」というとき、保育士は「お野菜終わったらもっていくね」と返事をしています。1歳児は一皿を食べてから次のものを提供しているようです。子どもたちは保育士から「あつまれしょうか?」「パプリカ食べれる?」「おうどんおいしそうだね」と声をかけてもらっています。

### <排泄>

公園から戻り、子どもの様子に合わせてオムツ交換やトイレトレーニングを行っています。一人一人に合わせて、マットでオムツ交換してもらう子どもや「〇〇ちゃんきてください」と保育士に声をかけられトイレに行く子どもがいます。子どもたちは自分でズボンを脱いでいます。保育士はオムツ交換用のマットをすぐに消毒液で拭き、衛生面にも気を付けています。

### <リトミック>

トイレに行った後に、保育士が「ぴーちさん、ご本読もう」声をかけると、子どもたちは保育士の近くに集まり、絵本をよんでももらっています。次は「ぐーちょきぱーでなにつくろー」と手遊びをしながら、リトミックの時間まで待っています。9時30分にはリトミックの講師が来て、「リトミックはじめましょう」と曲を弾きながら朝の挨拶をしています。リトミックでは、講師が弾く曲に合わせて歌ったり、手遊びをしています。講師がタケノコの絵カードをみせながら「タケノコ、タケノコ、ニョッキニョッキ」と歌と身体で表現すると、子どもたちも講師を真似て楽しそうに、ニョッキニョッキをしています。

### <散歩>

峰岡三丁目公園に行きました。出発前には保育室で準備を整え、子どもたちは壁に沿って並んで座り、帽子のゴムを嫌がる子どもは「このほうが危なくなくていいんじゃない?」「かわいいな」と褒めてもらいながら、保育士に帽子のかぶり方やあごにかかるゴムを直してもらっています。子どもたちは公園の丘の階段で枯葉を拾いながら、保育士の周りで遊んでいます。

### <午睡>

食事と午睡の場は分けてあり、食事前には午睡準備の布団が敷いてあります。午睡の時には、明かりを落とし、子どもたちは布団の上で保育士が絵本を読むのを聞いています。保育士が「おしまい」と言うと、子どもたちは「どうもありがとうございました」と答えています。保育士の「お布団掛けるからね、ゴロンして」という言葉で仰向けになり午睡が始まります。保育室にはオルゴール

ル曲が流れ、0歳児保育室にも届いています。子どもたちは保育士に身体をトントンしてもらったりさすってもらいながら眠りについていきます。

## 【2歳児】

### <食事>

保育士が配膳してくれるのを待ち、昼食がはじまりました。子どもたちは、保育士に話しかけたり、お喋りしながら食べています。2歳児はフォークを使用しています。ほとんどの子どもが完食していますが、なかなかデザートにたどり着かない子どもは、保育士から「お野菜へらす？」と声をかけてもらっています。ある程度食べ終わった子どもは「おかわりする？」と保育士に聞かれ、提供してもらっています。苦手な食材に食事が進まない子どもは「ヨーグルトがあるからね」と保育士から楽しみを伝えられ、食事が進むように促されています。食事の途中でテーブルの下で足がぶつかったと子どもたちがもめています。保育士から「〇〇ちゃん足でけんかしないの」「△△ちゃんは足のぼしてない？」と声をかけられています。栄養士が回ってきて「何がおいしかった？」と子どもに聞いています。食事の終わりには「皆で両手を合わせて一緒に」「ごちそうさまでした」をしています。

### <排泄>

活動の前後には順番にトイレに行きます。トイレには1、2名の子どもに保育士が一人ついて行き、一人一人に合わせて対応し、手洗いも促しています。食事後に「トイレに行きたい」と意思表示をする子どもは、一人で行っていました。

### <散歩>

峰岡三丁目公園まで散歩に出かけます。「今日のお手伝いは誰ですか？」と保育士が声かけすると、一人の子どもが「はい」と手を挙げ、手を繋ぐ子どもの所に行って友だちを誘います。保育室内で手を繋ぎ出発準備ができています。保育士の「行きますよー」の声で出発です。峰岡三丁目公園までの道のりは、かなり長い階段があり、階段の途中から迂回し、緩やかな坂道を歩いています。公園には、鉄棒、ブランコなどの遊具、砂場、広場、芝生の丘、ベンチがあります。皆で手足のストレッチやジャンプをします。「最初は皆でマラソンです。お友だちにはさわりません。抜いてもいいです。先生についてきてください。」と丘をマラソンします。先に丘の下に戻った子どもと保育士が、皆が揃うまで「がんばーれ、がんばーれ」と言いながら皆が揃うまで待ちます。最初は保育士を追いかけて走り、上がったたり下ったりする子どもが多かったのですが、そのうちに子どもたちは横になり丘を転がり降りてきて遊んでいます。自分で砂をはたいている子どもに「自分ではたけるの、すごいね」と保育士が声かけして

います。子どもたちは、何度も何度も声をあげながら楽しそうに遊んでいます。

ひとりで丘の下に寝そべって、枝で絵をかいている子どもがいて、保育士が「〇〇ちゃんお勉強ですか？」と話しかけています。大きな木につかまって、「かくれんぼするー？いーち、にーい、さーん」と声をあげて、ほかの子どもを遊びに誘う子どももいます。子どもたちの様子を見て、保育士は園から持参したシャボン玉遊びにきりかえます。子どもたちは公園の柵のそばにすわり、一人ずつ手渡されたシャボン玉を吹いて楽しみます。たくさん遊んだ子どもたちは満足したのか、保育士の「帰ります」の合図にすぐに集まります。

公園までの行きには「花がさいてる」「梅の花だよ、桜じゃないよ、みかんがなってるね、夏みかんかな？〇〇ちゃんはりんごが好きなんだよね」と子どもと保育士が会話しながら歩いています。

#### <午睡>

食事のあとに、子どもたちはテーブルについたままで保育士が絵本を読んでくれるのを聞いています。子どもたちが着替えやトイレトレーニングをしている間に、保育士が食事の場を午睡の場にする準備をしています。遊び疲れた子どもたちは、保育士が見守る中で、あっという間に眠りについています。

### 【3歳児】

#### <食事>

子どもたちがお茶の入ったコップを各自テーブルに運んでから、保育士が配膳をして、食事が始まります。今日の献立は、味噌煮込みうどん、竹輪の磯部揚げ、野菜サラダ、デザートはヨーグルトです。サラダに手の付かない子どもには、保育士が「野菜から食べようね」と声をかけています。子どもたちは、「竹輪美味しい」「ラーメン好きだ」「えー、ラーメンじゃなくうどんだよ」などと話しながら食べています。おなかを壊している子どもには「お母さんからお手紙がきて、今日はおなかが良くないから、ヨーグルトは無しなんだよ。分かるね。」と、デザートを出せないことを説明していました。

### 【4歳児】

#### <製作>

子どもたちみんなで紙コップを使った、ひな人形づくりをしています。折り紙を切って、紙コップに糊で貼り付け衣装にします。ピンクの折り紙を紙コップに巻き付け、その上に小さく切ったブルーの紙を張り付けて綺麗な衣装ができました。お雛様の顔は次回に作ります。

### 【5歳児】

### <平仮名の学習>

子どもたち全員がテーブルにつき、「む」と「ま」の書き方の練習です。保育士がホワイトボードで書き順を教えています。「最初は横棒を上の方に少し斜めに書きます。次は少し難しいよ。上から書いて、クルリンとして、曲げます。」子どもが「「す」と同じだよ」というと「そうだねよく覚えていたね」とほめています。子ども一人一人に練習のドリルを渡して、鉛筆で練習をしています。最初はテンテンをなぞって書いて、最後は何もない枠の中に書きます。保育士が一人一人を見て回り、花丸を付けていました

### 【4、5歳児】

#### <散歩>

4歳児8名と5歳児10名で和田公園に出かけます。出発前に全員の点呼を取り、子どもの人数を確認して、出発です。4歳児と5歳児で手をつなぎ、目的地には約5分で到着しました。公園に到着し、保育士が公園の周辺の安全確認をしてOKサインを出し、子どもの点呼をしたのち、4歳児から遊びに入ります。子どもたちは歓声を上げ、滑り台、ブランコに向かっていきました。滑り台とブランコには安全の確認のため保育士が一人ずつ付いて、子どもを見守っています。5歳児は氷鬼をするといって、全員が輪になって鬼決めをして、2名の鬼が決まりました。鬼になった子は帽子を黄色にして、子どもたちを追いかけています。子どもたちが決めたルールでは、バリアゾーンを作り、そこには鬼が入ることができないので、子どもはそこに逃げこめば鬼に捕まることはありません。鬼に捕まらず、どのようにバリアゾーンに逃げ込むか、鬼と子どもたちの知恵比べです。保育士はその様子を見ながら、「○○ちゃん、後ろに鬼が来たよ」とか「○○鬼さん、○○ちゃんがあそこにいるよ」などと、声をかけています。

#### <食事>

4、5歳児合同で4つのグループに分かれて給食を食べています。お当番活動があり、お当番の子どもはエプロンや三角巾を付けて配膳の手伝いや、今日のメニューの読み上げをしています。食事中はみんなで話をしながら食べていますが、大きな声で話す子どもはいません。食事の終わりの目安を保育士が伝えています。保育士が全体の様子を見ながら、お代わりの提供をしています。この日はぐれーぷ(4歳児)クラスで栽培したブロッコリーの提供があり、保育士と子どもたちは「おいしいねー」と言いながら少しずつ味わっています。

### 【受審の動機】

運営主体の理念として、「利用者に本当に求められるサービスを提供すること」を掲げております。利用者が園に求めている事柄や日々の真の想いを把握し、日々の運営に反映させるため、本年も評価受審に取り組みました。

開園当初より同じ評価機関に評価を依頼することで、比較がしやすく運営方針等も十分にご理解いただいた上で調査を実施していただけると感じております。

また、今年で開園 10 年目となり、これまで築いた土台に加え、今年度の園の取り組みや対応を振り返ることで、職員一人ひとりが自らの保育を見直す良い機会であったと捉えています。

今後も常に利用者のニーズに添い、子どもに寄り添いながら、選ばれ続ける施設でありたいと考えております。受審にあたっては、職員一人一人が趣旨を理解し、取り組むことが出来ました。

### 【受審した結果】

この受審をきっかけとして、全職員が自分自身の保育や園全体の運営について、基本的なことから見つめ直すことができ、客観的自己評価の大切さを実感することができました。

また、評価結果をもとに、保育の役割と機能、地域における役割や結びつきの大切さといったものを再認識することができ、今後も保育内容の改善・充実を図りながら、より求められる保育園を作っていこうと決意いたしました。

昨年度に引き続き、当園では、地域に開かれた保育園運営を目指しており、その結果として達成率の上昇がみられたことは非常に嬉しく思います。また、日頃より利用者とのコミュニケーションを密にとり、信頼関係を築いていくことを大切にしている私たちにとって、今年度も職員の対応などをはじめとする利用者満足度が高いという結果は大変嬉しいもので、非常に励みとなりました。

その反面、子どもに対する言葉がけについては今後の課題として捉え、来年度以降園全体で取り組んでまいります。今年度は新しい職員が増えたので、反省事項を踏まえて育成していきます。

最後に、今回の第三者評価の受審に際し、ご尽力いただいた評価機関の皆様、そしてご多忙にも関わらず、利用者調査にご協力いただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。